事業所名　プチふぁみLINK

支援プログラム

作成日　2025 年　2 月　28 日

法人（事業所）理念		共生社会の中で、来るべき自立の一歩をスムーズに踏み出していただけるよう、お子様の特性を大切にしながら成長に寄り添った支援を行う。			
支援方針		放課後等デイサービスを通じてお子様の発達や個性寄り添いながら、体・心・感性・社会性を柱とした支援活動を行う			
営業時間		平日　10:00～18:00　長期休暇時　8:00～18:00		送迎実施の有無	あり
		支　援　内　容			
本人支援	健康・生活	火）バランスボール：多様な動きを身に着けやすい時期に、必要以上の負荷をかけず動きの土台となる基本動作を取り入れながら、骨と筋肉が成長しやすいような運動を取り入れる 木）五感を育てる色遊び：カレンダー作りを通じ、季節を考えたり先の見通しを立てたりしながら生活リズムや生活習慣の意識づけを行う 金）音楽遊び：言葉をかけながらストレッチを行い、心と体の緊張を緩和する・説明、準備、活動、片付けのパターンで繰り返される中で、次の動作に移行する「リズム」が作られていることを経験し身に着けていく→この経験が生活の場で「生活リズム」として活かされるように経験を積んでいく その他：味噌を仕込むこと、仕込んだ味噌を使って味噌汁をつくる経験やおにぎり作り、靴やハンカチを洗うなど、将来の自立時に必要な生活基礎を身に着ける			
	運動・感覚	火）バランスボール：バランスボールを用いることで左右均等に力を分散し骨格や筋肉の偏りを減らす（バランス感覚）・安定感のないボールに座ることで体の軸を意識し手足の動きを円滑にサポートすることができる（体幹強化）正しい姿勢をキープするための筋力を鍛え姿勢が崩れた状態や猫背の癖を回避・不安定なボールに座ることで緊張状態になり、バランスを司る小脳が働いてぐらつかないよう集中力が上がる等、バランスのとれた成長へつなげる 金）音楽遊び：楽器を見る、触る、音を聞く、音を出す工夫をする、楽器の名前を覚えるなど、多方面から感覚へのアプローチを行い、視覚・聴覚・触覚などの感覚を十分に活用し、刺激する その他：イヤーマフ据置			
	認知・行動	火）バランスボール：感情や欲求のコントロールが苦手な場合、常に体を力ませて筋肉が固くなることがあるため、力を抜くことやストレッチの大切さを繰り返し伝える 指示を動作で表現する 木）五感を育てる色遊び：透かし絵やボタニーペインティング等の制作過程を通して、空間・時間・数の認知能力、観察力、想像する力や集中力・周囲へ配慮する力を育む 金）音楽遊び：五感を十分に活用して、必要な情報を収集する→行動につなげるという一連の認知過程の発達を促す上肢、下肢の運動、動作の改善および習得をゲームの中で楽しみながら行う・音楽リズムを通じて「体の緊張と弛緩」を経験し発達を促す			
	言語 コミュニケーション	木）五感を育てる色遊び：活動中の説明を聞くこと・聞いたことを動作に繋げること・わからないことを質問する・誰かの意見を聞く等、活動全体を通じ日常に必要なコミュニケーション力を養う 金）音楽遊び：独奏から複数人数での合奏へ形態を変化させることで、お互いを認識して協力しあう			
	人間関係 社会性	木）五感を育てる色遊び：グループでのかかわりの中で、活動中の一緒に仕上げる楽しさや材料の譲り合い他、相手を思いやれる気持ちの醸成や誰かのために頑張る経験を重ねる 金）音楽遊び：遊びを通して人の動きを模倣することにより、社会性や対人関係の発展を支援する・遊び方が面白ければ、同じことをやってみようとし、人をよく観察するようになる ・考えた遊びを発表することでお互いを認め賞賛し、その雰囲気を共有できる			
家族支援		相談援助・保護者会・就業相談		移行支援	
地域支援・地域連携				職員の質の向上	外部研修（受講費補助）内部研修（講師招聘・教育ビデオ活用） 資格取得の奨励
主な行事等		・夏祭りやクリスマス会等の季節の行事　・児童クラブとの合同遊びや静岡の特産品を使ったクッキング ・食育（味噌の仕込みや味噌汁つくり）やお買い物等の生活体験			